

夢の宅配便

小田原市立城山中学校

学年主任 水野喜代治

「同窓会でわかる中学校の人間関係」

2年前に、還暦(60歳)ということで、中学校時代の学年同窓会が開かれました。60歳という大きな節目ということもあって、学年の3分の2ぐらいの友達が集まりました。5クラスだったので、5つのテーブルにクラスごとに集まって、お酒を飲みながら昔を懐かしみました。会が進む中、学年でも目立っていたAさんのところには、人が集まりませんでした。中学校時代は、勉強もできて、スポーツもできて、中心的な生徒だったのに、その人と「久しぶり、Aさんだよね」とか挨拶はするけど、そのあとの話が続きません。

Aさんは、自分が中心でないとすねたり、自分より立場の弱い友達を馬鹿にしたり、自分に従わない人を批判したり、先生にも反抗したり、中学生にとっては、ちょっと怖い存在だったので、多くの人が従っていました。Aさんの機嫌を損ねないように気を使ってることがほとんどだったから、みんな、笑いあうようなエピソードもあまりなく、「君は、いじわるだったね」とも言えないので、挨拶したらそれで終わりというようになってしまったため、Aさんはテーブルで一人でつまらなそうにお酒を飲んでいました。

私は、少し可哀そうだなと思い、Aさんに話しかけました。「Aさん、久しぶり、喜代治です。」するとAさんから「喜代治、先生になったんだって、よく先生になれたな。喜代治が先生なんて!」といきなり言われました。「自分でも、教員になるなんて、びっくりだよ」と答えましたが、相手の気持ちを考えないで話しかける、Aさんの性格は相変わらずだなと思いました。

中央のテーブルで、みんなに囲まれて話が盛り上がっているのは、誰にも優しく、威張ることもなかったBさんでした。中学校時代からだれにも優しく、差別しないで弱い立場の友達にいつも声をかけているような生徒でした。みんな、昔の楽しい思い出話で話題が尽きません。「おれが、弁当を机から落とした時に、Bさんが半分くれたよな。あの時のウインナーおいしかったよ。今でも覚えてるよ!」と昔のエピソードで、みんな爆笑しながら盛り上がり、同窓会の時間があっという間に過ぎていきました。

中学校の今の生活の中で、友達とどのようにかかわっているかが大切だと思います。大人になって再会するときに、友達に嫌な思い出を与えるような行為や発言をしていませんか?目の前にいる友達のことを大切にしていますか?自分と気が合わない友達も否定することなく、お互いすこしでも認めあえるような心を持って接していますか?

優しい人のまわりには、たくさんの人が集まってきます。優しい気持ちを大切に日々を過ごしていけたら素敵だと思います。

今日のキヨさんの詩 NO 2 2

迷う……

どっちにしようか？

やるのやらないの？

どうするかを決意しなければならない

決意するには迷いを断ち切ることが必要だ

そして

迷いを断ち切るには勇気が必要だ